

科目名 (英)	図工 Arts and crafts education	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	川口 龍	
		授業形態	演習	総単位時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 月曜 1・2限	
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)								
美術科修士課程修了。美大予備校、カルチャー教室、自宅アトリエ、幼稚園アート教室にて、大人や子どもの創作活動に携わる。								
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)								
本科目は、子どもの表現力や創造力を育むための基礎知識を学ぶ制作演習である。 美術教育の立場から、現状や観点を伝える。								
【到達目標】								
・発達段階に応じた絵画造形の基礎を学び、創作活動を適切に指導する技術を身に付ける。 ・材料や画材の知識を深め、表現に適した選択ができる。 ・表現の楽しさを学び、伝えることができる。他者の表現に寄り添うことができる。								
【使用教科書・教材・参考書】 教員の指示に従い準備をすること(スケッチブック、画材など)				【授業外における学習】 想像力を広げたい。日常の中で興味深く観察する視点を持ち制作に活かす。				
回	授業概要	回	授業概要					
1	【到達目標】 授業の進行方法、評価基準を理解する。 子供の表現と保育士の関わりを把握する。 【授業内容】 講義、演習「自己紹介カード記入」	9	【到達目標】 偶然性の美と技法について知る。 【授業内容】 演習「技法研究②デカルコマニー・ドリッピング・糸引き」					
2	【到達目標】 色の特徴を知る。 【授業内容】 演習「色の三原色」	10	【到達目標】 道具と技法を知る。 【授業内容】 演習「技法研究③スクラッチ」					
3	【到達目標】 効果的な色の配置を知る。 【授業内容】 演習「補色・同系色」	11	【到達目標】質の違いから生まれる美への意識を深め、技法を知る。 【授業内容】 演習「技法研究④バチック・フロッタージュ」					
4	【到達目標】 色の効果・性質・種類を知る。 【授業内容】 演習「暖色・寒色・その他の色」	12	【到達目標】 イメージを様々なパートと組み合わせ、一つの世界を表現する。 【授業内容】 演習「技法研究⑤コラージュ」					
5	【到達目標】 描画表現の基礎を知る。 【授業内容】 演習「静物デッサン」	13	【到達目標】 美しく見やすい文字のデザイン性について、演習を通して知る。 【授業内容】 演習「技法研究⑥レタリング」					
6	【到達目標】 人体における描画表現の基礎を知る。 【授業内容】 演習「人体デッサン」	14	【到達目標】 道具と技法を知る。 【授業内容】 演習「技法研究⑦スチレン版画」					
7	【到達目標】 描画表現に必要な要素、伝え方を知る。 【授業内容】 演習「情景描写」	15	【到達目標】 配色の効果と画面構成について知る。 【授業内容】 演習「版画印刷」					
8	【到達目標】 偶然性の美と意図的な線を組み合わせ表現する。 【授業内容】 演習「技法研究①スタンピング・バブルアート・マスキング」		【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)					
【特記事項】 他者の表現に興味を持ち観察してみよう。								

科目名 (英)	保育原理 Nursery School Instruction Research	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	上條 友葉
		授業形態	講義	総単位時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 月曜 3限
学科・コース	保育士科(昼間主コース)						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 幼稚園教諭として保育現場で担任教務の経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 本科目は、保育の本質や目的、制度や歴史、保育の現状について学ぶ基礎的な科目である。							
【到達目標】 ・保育に関する法令及び制度を理解し、保育の基礎・基本理念、意義および目的について理解することができる。 ・保育所保育指針における保育の基本について理解し、保育の在り方や保育者の役割について理解することができる。 ・保育の歴史的変遷や思想を学ぶとともに、保育の現状や課題について考えることができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「新基本保育シリーズ①保育原理」中央法規				【授業外における学習】			
回	授業概要	回	授業概要				
1	【到達目標】 保育の理念について理解しとめることができる。 【授業内容】 オリエンテーション 保育の理念	9	【到達目標】 これまでの学びを反映し、語句の記述及びそれらの説明をすることができる。 【授業内容】 中間試験・アクティブラーニング				
2	【到達目標】 保育の概念について理解することができる。 自身の考えをまとめ記述することができる。 【授業内容】 保育の概念	10	【到達目標】 日本の保育の歴史・大切にされてきた思想を理解し、まとめることができます。 【授業内容】 日本の保育の思想と歴史 諸外国の保育の思想と歴史				
3	【到達目標】 保育士及び保育所の社会的な役割と責任について考えることができる。自身の学びと展望をまとめ記述することができる。 【授業内容】 保育の社会的役割と責任	11	【到達目標】 諸外国の保育の思想と歴史について知る。日本にも取り入れられている保育形態について理解し、自身の考えをまとめることができます。 【授業内容】 諸外国の保育思想				
4	【到達目標】 現代の保育の実施体系について理解しとめることができる。 子ども子育て新制度について理解し系図を記述することができる。 【授業内容】 保育の実施体系 子ども子育て新制度	12	【到達目標】 子どもを理解したうえでの保育計画の策定過程について学ぶ。 根拠に則った計画案と実践の事例から気付きをまとめることができます。 【授業内容】 子ども理解に基づく保育の過程(理論)				
5	【到達目標】 保育所保育指針の概要および各章の詳細について理解することができる。 保育所保育指針に基づいた保育について考え方を記述することができる。 【授業内容】 保育所保育指針に基づく保育	13	【到達目標】 子どもを理解したうえでの保育計画の策定過程について学ぶ。 根拠に則った計画案と実践の事例から気付きをまとめることができます。 【授業内容】 子ども理解に基づく保育の過程(実践)				
6	【到達目標】 保育運営する目的と目標について理解しとめることができる。 多様な保育方法とそれらに共通する事柄を理解することができる。 【授業内容】 保育の目標と方法	14	【到達目標】 保育の基礎をたしかめ、重要語句の記述及び説明ができる。 【授業内容】 定期試験 保育士の倫理				
7	【到達目標】 乳児の保育における3つの視点を理解しとめることができる。 【授業内容】 乳児の保育	15	【到達目標】 前期の学びを振り返り、自身の今後の課題を見つけることができる。 【授業内容】 定期試験振り返り				
8	【到達目標】 幼児の保育において意識したい「幼児期の終わりまでの育ってほしい10の姿」について理解しとめることができる。 【授業内容】 幼児の保育		【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)				
【特記事項】							

科目名 (英)	保育者論 Nursery teacher theory	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	海老原 孝一
		授業形態	講義	総単位時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 木曜 1限
学科・コース	保育士科(昼間主コース)						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
公立の小中学校で教育職員をした後、海外の日本人学校や幼稚園で18年間教育・運営、帰国後保育士養成に携わる。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
保育者とは何か、自身が将来目指す保育者像を描くことができるようになる。また保育者の役割と責務について理解し、保育・幼児教育に関わる者としての意欲の向上を図る。							
【到達目標】							
保育者とは何かを理解し、自身が将来目指す保育者像を描くができるようになる。また保育者の役割と責務を知り、将来保育者になる者として、保育・幼児教育への意欲を向上する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
必要資料は授業時に教員が配付する。				予習や復習、資料準備などを事前に連絡する。			
回	授業概要	回	授業概要				
1	【到達目標】 保育者の役割や職務について知る。 【授業内容】 保育者の役割・職務内容	9	【到達目標】 保育における職員間の連携・協働の重要性を理解する。 【授業内容】 保育における職員間の連携・協働				
2	【到達目標】 保育者の倫理について理解する。 【授業内容】 保育者の倫理	10	【到達目標】 専門機関について知り、そとの協働について理解する。 【授業内容】 専門職間および専門機関との連携・協働				
3	【到達目標】 保育者の資格と責務について理解する。 【授業内容】 保育者の資格と責務	11	【到達目標】 地域社会との連携について理解する。 【授業内容】 地域社会との連携・協働				
4	【到達目標】 保育者の資質と能力について知り、自分を振り返る。 【授業内容】 保育者の資質・能力	12	【到達目標】 保育における関係機関について知る。 【授業内容】 関係機関との連携				
5	【到達目標】 擁護と教育がどのように関連しているかを理解する。 【授業内容】 擁護および教育の一体的展開	13	【到達目標】 保育者としての資質の向上のために組織として何ができるかを知る。 【授業内容】 資質向上に関する組織的取組				
6	【到達目標】 家庭と保護者に対する支援の重要性について知る。 【授業内容】 家庭との連携と保護者に対する支援	14	【到達目標】 保育者のキャリアアップについて知る。 【授業内容】 保育の専門性の向上とキャリア形成の意義				
7	【到達目標】 保育の実践とその評価について理解する。 【授業内容】 計画に基づく保育の実践と省察・評価	15	【到達目標】 保育におけるリーダーシップの取り方を知る。 授業1～授業15を振り返り、定期試験を受けることができる。 【授業内容】 保育におけるリーダーシップ 【定期テスト】学習したこと振り返り、テストに臨む。				
8	【到達目標】 保育の質の向上のために自分ができることを知る。 【授業内容】 保育の質の向上		【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点=A評価 点数 89～80点=B評価 点数 79～70点=C評価 点数 69～60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)				
【特記事項】				受講者の状況に合わせて、内容や学習の順番を変更する場合があります。			

科目名 (英)	保育内容演習 Seminar for Contents of Early Childhood Care and Education 学科・コース 保育士科(昼間主コース)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	上條 友葉	
		授業形態	演習	総単位時間	60	開講区分 曜日・時間	前期 水曜 2・3限	
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 幼稚園教諭として保育現場で担任教務の経験を持つ。								
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 本科目は、子どもの発達に必要な活動について、学生自身が計画・実践・振り返りを行い、実践的に学ぶ科目である。学生はこの授業から保育の理解を深め、現場力を身につけて欲しい。また、グループワークを通じて保育現場で必要な相互理解の力を養って欲しい。								
【到達目標】								
①総合的に保育を展開していくための知識・技術・判断力を習得する。②保育所保育指針における乳児保育の3つの視点と、1歳以上3歳未満児及び3歳以上児の保育のそれぞれ5つの領域を通して捉え、保育の内容について具体的に理解する。③子どもが生活や遊びにおいて体験していることを捉えるとともに、保育士が留意、配慮すべき事項を理解する。④環境の構成、教材や遊具等の活用と工夫、保育の過程の実際について理解する。								
【使用教科書・教材・参考書】 ・「保育所保育指針ハンドブック2017年告示版イラストたっぷりやさしく読み解く」学研				【授業外における学習】				
回	授業概要	回	授業概要					
1	【到達目標】 自身を保育者として整える意識を持つことができる。 保育現場で楽しむ手遊びの意味を理解することができる。 【授業内容】 手遊び・歌遊び	9	【到達目標】 5歳児の発達段階を知り、まとめることができる。 微細な手指の操作と指導の方法を知り実践することができる。 【授業内容】 七夕かざり制作					
2	【到達目標】 自身を保育者として整える意識を持つことができる。 保育現場を想定した自己紹介を実践することができる。 【授業内容】 保育者としての自己紹介	10	【到達目標】 5歳児の発達段階を知り、まとめることができる。 微細な手指の操作と指導の方法を知り実践することができる。 【授業内容】 七夕かざり制作					
3	【到達目標】 行事に向けて必要な準備を整えることができる。 園外保育に参加し楽しさを実感することができる。 【授業内容】 春の遠足	11	【到達目標】 子どもの姿から気付きを捉え、記録に残すことができる。 【授業内容】 エピソード記録の書き方(1)					
4	【到達目標】 行事の後の振り返りを学び、記録にまとめることができる。 伝える工夫について学び、実践することができる。 【授業内容】 行事の反省と振り返り	12	【到達目標】 保育の環境や保育者の姿から気付きを捉え、記録に残すことができる。 【授業内容】 エピソード記録の書き方(2)					
5	【到達目標】 保育者が保育現場で取り扱う絵本について知る 発達年齢や場面に相応しい絵本の選び方を理解することができる。 【授業内容】 保育現場の絵本 選び方と読み聞かせ	13	【到達目標】 保育園見学を行い、子ども理解を深めることができる。 現場での学びを記録に残すことができる。(連携:保育計画の理解と方法) 【授業内容】 保育園見学					
6	【到達目標】 絵本の仕組みや読み方を知り、工夫をまとめることができる。 選んだ絵本の特徴を知り、指導案を策定することができる。 【授業内容】 保育活動と指導案	14	【到達目標】 保育園見学での気付き、学びを反映した保育日誌を記述することができる。 学びから自身の今後の課題を見つけることができる。 【授業内容】 保育日誌の記述					
7	【到達目標】 「手遊びと絵本の読み聞かせ」の指導案を策定し、計画に則った保育実践をすることができる。 【授業内容】 中間試験	15	【到達目標】 保育園見学での気付き、学びを反映した保育日誌を記述することができる。 学びから自身の今後の課題を見つけることができる。 【授業内容】 定期試験					
8	【到達目標】 「手遊びと絵本の読み聞かせ」の指導案を策定し、計画に則った保育実践をすることができる。 【授業内容】 中間試験	【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)						

科目名 (英)	乳児保育 I Infant nursing Care I	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	坂本 美登里
		授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 木曜 2限
学科・コース	保育士科(昼間主コース)						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
私立保育園に長年勤務し、乳幼児の保育に携わる。また、児童養護施設に勤務経験あり。現在は小規模保育園で0・1・2歳児の子どもたちを保育している。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
現在も日々乳児の保育に携わっている講師が、今現場で展開されている子どもたちの生活や遊び、保護者支援の話などを取り入れ、より具体的でリアルな講義を行う。本科目では、3歳未満児の発達の特徴を踏まえた遊びや生活の援助の仕方や保育士の役割を理解し、養護と教育の一体性を踏まえた乳児保育の基本を理解してほしい。乳児期の保育が子どもたちの心と体の基礎を作ることを理解し、適切な指導計画が立てられるようになってほしい。							
【到達目標】							
・乳児保育の意義・目的と歴史的変遷及び役割について理解する。・保育所・乳児院など多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。 ・3歳未満実習の発育・発達をふまえた保育の内容と運営について理解する。 ・乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
・「はじめて学ぶ乳児保育 第2版」同文書院 ・「保育所保育指針ハンドブック2017年告示版イラストたっぷりやさしく読み解く							
回	授業概要	回	授業概要				
1	【到達目標】 乳児保育を学ぶ心構えができる。乳児保育の意義・歴史的変遷について理解する。 【授業内容】 授業オリエンテーション(授業の進め方を知る)。乳児保育に必要な基礎的な知識を獲得し、乳児に携わる喜びや意義を理解する。	9	【到達目標】 胎児期から0歳児までの発達を理解し、子どもたちの成長をともに喜びあえる知識と、親または保育士との愛着関係の大切さを知る。 【授業内容】 映像をで大まかな子どもの発達を知り、それに伴った保育士の役割を理解する。				
2	【到達目標】 乳児保育の中で行われている養護的な要素と教育的な要素について理解し、それぞれを一体的に展開することの意義を記述できる 【授業内容】 保育所保育指針での用語と教育の一体性を理解し、乳児保育の様子を映像で観察し、養護的要素・教育的要素について考察する	10	【到達目標】 1歳児から2歳児の発達を理解し、子どもたちの成長をともに喜びあえる知識と、親または保育士との愛着関係の大切さを知る。 【授業内容】 映像をで大まかな子どもの発達を知り、それに伴った保育士の役割を理解する。				
3	【到達目標】 様々な乳児保育の現場について分類でき、それぞれの役割や機能について理解し、保育士の仕事について述べることができる。 【授業内容】 保育所・小規模保育園・乳児院などの保育現場について特徴を理解し、保育の勤務内容とその意義を知る。	11	【到達目標】 乳児の生活について理解し、それらに必要な環境について考えを述べることができる。 【授業内容】 様々な保育施設の保育環境について調べ、保育所保育指針と照らし環境設定に必要な事項について理解する(保育室のデザイン)				
4	【到達目標】 保育所における乳児保育の役割と現状について理解し、保育士に必要な技術について述べることができる。 【授業内容】 保育所保育指針に記載されている乳児保育の内容について知る。担当制による乳児保育の現状と保育士の役割分担について学ぶ	12	【到達目標】 乳児の遊びの特徴を理解し、それらに必要な環境について考えを述べることができる。 【授業内容】 乳児の発達について理解し、発達に合った遊びについて保育所保育指針と照らし計画する。				
5	【到達目標】 小規模保育所や家庭的保育における乳児保育について理解し、保育士に必要な知識や技術について述べることができる。 【授業内容】 保育所と小規模保育所や家庭的保育の違いについて知り、その特徴を生かした保育の実践について考える。	13	【到達目標】 3歳未満児の発育・発達を段階的に理解し、保育士などによる適切な援助や関りについて述べることができる。 【授業内容】 保育所での保育実践を観察し、実習日誌形式でエピソード記録を取り、考察をする。				
6	【到達目標】 保育所以外の児童福祉施設における乳児保育について理解し、保育士に必要な知識や技術について述べることができる。 【授業内容】 乳児院や療育センターについて、その施設を利用する子の特徴や背景を理解し、保育士の勤務内容を知る。	14	【到達目標】 乳児保育における計画・記録・評価の方法について理解し、その意義を踏まえ模擬記入ができる。 【授業内容】 乳児保育における計画・記録・評価の方法について理解し、指導案の模擬作成をする。				
7	【到達目標】 子育て支援の社会的背景や施策について理解し、保育士がどのように関わりどのような課題があるのかをまとめることができる。 【授業内容】 子ども子育て支援(内閣府)パンフレットを使用し施策について理解し、保護者とわかりあうためにどのような支援を行うかを知る。	15	【到達目標】 定期テストにより、前期の学習内容を振り返る。 【授業内容】 定期テスト				
8	【到達目標】 3歳未満児と保護者を取り巻く環境を理解し、保育士に必要な知識や技術を述べることができる。 【授業内容】 中間テスト これまでの授業内容について振り返る。		【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)				
【特記事項】							

科目名 (英)	総合福祉技術(点字) Study for Braille	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	天野 亨
		授業形態	演習	総単位時間	15	開講区分 曜日・時間	前期 木曜 3限
学科・コース	保育土科(昼間主コース)						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
視覚しようがい者で盲導犬と歩いています。長年点字を使い、学習・読書・点字楽譜を使って音楽の勉強もしてきました。点字や日本語の魅力をお伝えします。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
この授業では、友人と文通ができる程度の点字の読み書きを学ぶと共に、視覚しようがいについての理解を深めています。							
【到達目標】							
基本的な点字の学習を通じて、日本語を別の角度からとらえ返すと共に、それを使用する視覚しようがい者のハンディキャップについての理解を深める。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
・「視覚障害者介護技術シリーズ1 初めての点訳 第3版」				学習内容の予習・復習			
・点字器							
回	授業概要	回	授業概要				
1	【到達目標】 名前を書こう 【授業内容】 点字器の正しい使い方と、点字の50音を理解しよう。	9	【到達目標】 形式名詞を学ぼう 【授業内容】 形式名詞について理解しよう。				
2	【到達目標】 単語を書こう 【授業内容】 点字で単語を正しく書こう。	10	【到達目標】 三つのハンディキャップについて理解しよう 【授業内容】 視覚しようがい者のハンディキャップについて学ぼう。				
3	【到達目標】 数字とアルファベット 【授業内容】 点字の法則と数字・アルファベットとの関連性について学ぼう。	11	【到達目標】 盲導犬について知ろう 【授業内容】 盲導犬の仕事や、その主人との関係について考えよう。				
4	【到達目標】 付属語について 【授業内容】 自立語と付属語について学ぼう。	12	【到達目標】 こ・そ・あ・ど言葉について 【授業内容】 連体詞・副詞について学ぼう。				
5	【到達目標】 文章を書こう 【授業内容】 短い文章を正しい仮名使いで書こう。	13	【到達目標】 「ない」について理解しよう 【授業内容】 「ない」と言う言葉について学ぼう。				
6	【到達目標】 文節分かち書き 【授業内容】 文節分かち書きについての理解を深めよう。	14	【到達目標】 終了作品を作ろう。 【授業内容】 点字授業の最後にあたり、終了作品を作ろう。				
7	【到達目標】 補助動詞 【授業内容】 補助動詞について学ぼう。	15	【到達目標】 テスト 【授業内容】 今まで習得した点字の技術を評価するための試験と振り返り。				
8	【到達目標】 振り返りとテスト 【授業内容】 今まで習得した点字の技術を評価するための試験と振り返り。		【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)				
【特記事項】							

科目名 (英)	英会話 English Conversation	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	海老原 孝一
		授業形態	演習	総単位時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 金曜 1限
学科・コース	保育士科(昼間主コース)						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
公立の小中学校で教育職員をした後、海外の日本人学校や幼稚園で18年間教育・運営、帰国後保育士養成に携わる。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
日常で使う英語表現を学びながら、保育士・幼稚園教諭が現場で必要とする英語・英会話に特化した学習を行う。具体的には、幼児教育で使われる英単語、英語の歌、英語のゲーム、おたよりの翻訳、保育現場で想定される英会話、英語の紙芝居、英語を用いた製作活動、英語劇などである。また校外に出て、動物園や水族館の引率や説明を英語で行ったりもする。							
【到達目標】							
・外国語学習を通して、異言語や異文化への抵抗意識が少なくなる。 ・日常会話および児童福祉分野に関する基礎的な英会話力を習得する。 ・外国語学習や活動を通して、異なるものを認め、それを受け入れる態度を身につける。							
【使用教科書・教材・参考書】 必要資料は授業時に教員が配付する。				【授業外における学習】 予習や復習、資料準備などを事前に連絡する。			
回	授業概要	回	授業概要				
1	【到達目標】 英語で簡単な自己紹介やゲーム、歌を楽しむことができる。 【授業内容】 英語で自己紹介、ゲーム、歌。	9	【到達目標】 海外の文化に興味を持って調べたりすることができる。 【授業内容】 各自が興味や関心を持っている海外の国について調べてまとめる。				
2	【到達目標】 英語で子ども向け、成人向けの歌やゲームを楽しむことができる。 【授業内容】 英語のゲーム、歌。	10	【到達目標】 海外の文化に興味を持って調べたりすることができる。 【授業内容】 各自が興味や関心を持っている海外の国について調べてまとめる。				
3	【到達目標】 英語と日本語でピクチャーカードを作り、使うことができる。 【授業内容】 英語と日本語でピクチャーカードを作り、使う。	11	【到達目標】 英語のパンフレットを作ることができる。 【授業内容】 英語のパンフレット作り。				
4	【到達目標】 英語と日本語でピクチャーカードを作り、使うことができる。 【授業内容】 英語と日本語でピクチャーカードを作り、使う。	12	【到達目標】 英語のパンフレットを作ることができる。 【授業内容】 英語のパンフレット作り。				
5	【到達目標】 入国、レストラン、現地旅行、買い物の英会話を知り、使うことができる。 【授業内容】 入国、レストラン、現地旅行、買い物の英会話を知り、使う。	13	【到達目標】 英語で劇や表現活動ができる。 【授業内容】 英語の劇や表現活動。				
6	【到達目標】 入国、レストラン、現地旅行、買い物の英会話を知り、使うことができる。 【授業内容】 入国、レストラン、現地旅行、買い物の英会話を知り、使う。	14	【到達目標】 英語で劇や表現活動ができる。 【授業内容】 英語の劇や表現活動。				
7	【到達目標】 英語で道案内をすることができる。 【授業内容】 英語で道案内の表現。	15	【到達目標】 授業1~授業14を振り返り、定期試験を受けることができる。 【授業内容】 【定期テスト】学習したこと振り返り、テストに臨む。				
8	【到達目標】 英語で道案内をすることができる。 【授業内容】 英語で道案内の表現。 【中間テスト】		【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)				
【特記事項】 受講者の状況に合わせて、内容や学習の順番を変更する場合があります。							

科目名 (英)	社会福祉 training for nursery stuff	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	森 静子			
		授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 金曜 2限			
学科・コース	保育士科(昼間主コース)									
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)										
長年の保育所勤務を通じ、現場と専門知識をつなぐ学びが重要と保育者養成に携わる。										
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)										
実際に保護者や子どもの状況に対応した体験から、保育者が知つておかなくてはならない社会福祉の内容がある。学生自身の人生にとっても、保育者として保護者支援や障害児支援なども含め、社会福祉は深く密着している。実態やを伝え、保育の取り組みと理論を結びながら学ぶ科目である。										
【到達目標】										
・社会福祉の意義と歴史的変遷及び社会福祉における子ども家庭支援の視点について理解する。 ・社会福祉の制度や実施体系等について理解する。社会福祉の動向と改題について理解する。 ・社会福祉における相談援助、利用者の保護に関する仕組みについて理解する。										
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】						
・「新基本保育シリーズ④社会福祉」中央法規				授業を受けるにあたり予習を兼ねて、担当制で要約作成と発表を行う。講義後のミニレポート(小テスト)にて、理解度を確認する。						
回	授業概要			回	授業概要					
1	【到達目標】 社会福祉がどのように成立し、どのような理念で実践され、私たちの生活に根ざしているか理解する。 【授業内容】 社会福祉の理念と歴史的変遷			9	【到達目標】 相談援助の対象や援助過程を学び、援助者として必要な態度や姿勢を理解する。 【授業内容】 相談援助の対象と過程					
2	【到達目標】 児童における家庭や親の機能について学び、家庭を支援していくことの重要性について理解する。 【授業内容】 子ども家庭支援と社会福祉			10	【到達目標】 保育現場における相談援助の個々の方法と技術について理解する。 【授業内容】 相談援助の方法と技術					
3	【到達目標】 保育にかかわるうえで知っておくべき社会福祉の制度・法律について理解する。 【授業内容】 社会福祉の制度と法体系			11	【到達目標】 権利擁護や苦情解決の仕組みを学び、第三者評価や情報公開などサービスの質を担保する仕組みを理解する。 【授業内容】 社会福祉における利用者の保護にかかわるしくみ					
4	【到達目標】 福祉事務所や児童相談所など福祉専門機関について学び、福祉を支える行政の仕組みを理解する。 【授業内容】 社会福祉行政財政と実施機関、社会福祉施設等			12	【到達目標】 我が国の少子高齢化の現状を知り、少子化対策の展開と保育所の役割を理解する。 【授業内容】 少子高齢化社会における子育て支援					
5	【到達目標】 社会福祉分野(対人援助)における専門職の役割を学び、関係職種や地域との連携の大切さについて理解する。 【授業内容】 社会福祉の専門職			13	【到達目標】 我が国の中高齢者の現状を知り、共生社会の実現に向けて保育士に期待される役割について理解する。 【授業内容】 共生社会の実現と障害者施策					
6	【到達目標】 社会保障制度の概要を学び、子育て世代とそれを支える仕組みについて理解する。 【授業内容】 社会保障および関連制度の概要			14	【到達目標】 地域福祉の考え方や取り組みを学び、地域社会における保育士の役割を理解する。 【授業内容】 在宅福祉・地域福祉の推進					
7	【到達目標】 保育士が子どもの家族とかかわる際に用いる相談援助の理論について理解する。 【授業内容】 相談援助の理論			15	【到達目標】 先進諸国の歴史と動向を学び、福祉国家のあり方を理解する。 授業で学んだことを踏まえ、問題に答えることができる。 【授業内容】 諸外国の社会福祉の動向・定期試験					
8	【到達目標】 相談援助の意義と機能について学び、専門職としての「相談援助」とは何かを理解する。 【授業内容】 相談援助の意義と機能			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)						
【特記事項】										

科目名 (英)	Sign Languge 総合福祉技術（手話）	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	高須一美
学科・コース	保育士科(昼間主コース)	授業 形態	演習	総単位 時間	15	開講区分 曜日・時間	前期 金曜 3限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
TV政見放送通訳・講演会・企業研修・学校・保育現場・病院等における手話通訳士として;							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
聴覚障がいについての理解を深め、コミュニケーション方法の1つとしての手話の基礎を身に付け、幼稚園や保育園等、現場で役立つ表現を身に付けられるように授業を進めていく。実習の要素を多く取り入れ、学生自身が自分自身で「出来る」達成感を持てるようになりたい。生きた手話を身に付ける。							
【到達目標】							
簡単な自己紹介ができるようになる。子どもたちに簡単な手話を教えたり、手話を使った歌を指導できるようになる。現場で聴覚障がいを持つ保護者に対して簡単なコミュニケーションがとれるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
手話テキストⅠ 資料はTeamsを参照して下さい。				予習は特に必要ないが、復習し反復することにより身に付けてほしい。手を動かすことに慣れる。疑問があつたらすぐに質問してほしい。			
回	授業概要	回	授業概要				
1	【到達目標】 「手話」について理解する。挨拶の手話を覚える。 【授業内容】 手話とはどんな言葉なのか理解する。実際に手を動かして、簡単な挨拶が表現できるようになる。	9	【到達目標】 疑問詞Ⅰ(何・どこ・どっち)の表現を覚える。 【授業内容】 疑問詞を学び、会話ができるようになる。問う、答えるのコミュニケーションの形を取って、学生同士で会話ができるようになる。				
2	【到達目標】 自分の苗字が表現できるようになる。相手に名前を尋ねられるようになる。 【授業内容】 学生一人ひとりが苗字の表現方法を覚える。友人の苗字の表現も理解する。	10	【到達目標】 疑問詞Ⅱ(いくつ・いくら・いつ・なぜ・どうやって)の表現を覚える。 【授業内容】 様々な疑問詞を使って、実際に短文が表現できるようになり、会話の楽しさを体験する。				
3	【到達目標】 指文字(50音)の表現ができるようになる。 【授業内容】 <あ～ん>までの表現方法を学び、自分の名前を表現できるようになる。覚え方や指文字に関する手話を紹介する。	11	【到達目標】 現場を想定した会話ができるようになる。 【授業内容】 資料を使って、保育現場での会話を手話で表現できるようになる。				
4	【到達目標】 数字の表現方法を覚える。日時や金額、時刻の表現を身に付ける。 【授業内容】 <1～万>の単位までの数字を表現する。誕生日や約束の時間や金額の表現ができるようになる。	12	【到達目標】 歌に手話を付けて「ひゅじょう豊かに歌えるようになる。(『さんぽ』・『にじ』・『はじめの一歩』等)。 【授業内容】 保育園や幼稚園で楽しく歌いながら手話ができるようになる。歌詞の翻訳についても解説して、子どもの年齢に合わせた指導ができるように学ぶ。				
5	【到達目標】 聴覚障がいについて理解する。障がいとはどのようなことか、他の障がいについても理解する。 【授業内容】 映像を視聴して、聴覚障がいについて理解を深める。状況によってはグループ討論する。	13	【到達目標】 歌または物語に手話を付ける。 【授業内容】 事前に学生の希望を取り、歌または物語に手話を付ける。				
6	【到達目標】 時制に関する表現を身に付ける。 【授業内容】 今日・明日・来週等の表現方法を身に付け、簡単な文章を手話で表現できるようにする。	14	【到達目標】 1回目から13回目までの総復習。 【授業内容】 できることを確認する。できないところは、わからないところはどこなのか把握する。今後の手話学習についての情報提供をする。				
7	【到達目標】 1回目から6回目までの復習。自分の得意なところを克服する。 【授業内容】 良くわからなかつたところを、もう一度学習して苦手意識をなくす。次回の中間テストに備える。	15	【到達目標】 定期試験 【授業内容】 定期試験(手話の読み取り試験) 60点満点				
8	【到達目標】 中間試験 【授業内容】 中間試験(読み取り試験) 15点 表された手話の意味を既述する。		【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点=A評価 点数 89～80点=B評価 点数 79～70点=C評価 点数 69～60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価				
【特記事項】				全ての学生が、授業に積極的に参加できるような雰囲気を作っていくたい。遠慮することなく、わからないところやあいまいなところ、不明点はすぐに質問して欲しい。			

科目名 (英)	音楽 Music	必修選択	必修	年次	1年	担当教員 浅子 元 柿沼 秀子
		授業形態	演習	総単位時間	30	
学科・コース	保育士科			開講区分 曜日・時間	前期 月曜 1/2限	

【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)

保育士養成校にて20年のピアノ・音楽指導を行う。また保育園にてリトミック指導を12年行う。

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

長年の音楽(ピアノ)教育の経験から、ピアノ・歌唱のほか、リトミック、打楽器演奏、オペレッタを2002年から専門学校にて指導している。

本科目は、音楽的基礎力(楽典)に注力し保育者として必要とされる音楽技術を学ぶ。基本、毎回の授業でピアノの練習とレッスンを行う。バイエルピアノ教則本の50番までを仕上げる。

【到達目標】

- ・保育者、教育者として必要な基礎的な音楽の技術と理論を習得する。
- ・「ピアノを使って楽しく音楽が指導できる人を養成する」を授業の目標とする。
- ・バイエルピアノ教則本50番まで。

【使用教科書・教材・参考書】

- ・「こどものうた200」チャイルド社
- ・「標準バイエルピアノ教則本」全音楽譜出版社

回	授業概要	回	授業概要
1	<p>【到達目標】 オリエンテーションを行い年間の到達目標を理解する。</p> <p>【授業内容】 年間到達目標を理解する。ト音記号・ヘ音記号の読み方に慣れる。音楽課題曲リストの使用法を理解する。</p>	9	<p>【到達目標】 コード・ネームによる伴奏付けができる。生活の歌「おかたづけ」の習得。</p> <p>【授業内容】 コード・ネーム(C, F, G)が理解でき伴奏付けができるようになる。生活の歌「おかたづけ」の練習。「あめふりくまのこ」。</p>
2	<p>【到達目標】 季節の歌の歌唱、楽典の重要性について。</p> <p>【授業内容】 「めだかのがっこう」が歌える。コード・ネームの基本を学習する。「こいのぼり」。</p>	10	<p>【到達目標】 コード・ネームによる伴奏付けができる(応用編)。生活の歌「おかたづけ」の習得。</p> <p>【授業内容】 コード・ネーム(C, F, G)が理解でき伴奏付けができるようになる。「あめふりくまのこ」、「たなばたさま」。</p>
3	<p>【到達目標】 ピアノ曲の習得、コード・ネームの基礎。</p> <p>【授業内容】 ピアノ曲を1曲弾くことが出来る。コード・ネームの基本を学習する。「おかあさん」。</p>	11	<p>【到達目標】 コード・ネームによる伴奏付けができる(応用編)。生活の歌「おべんとう」の習得。</p> <p>【授業内容】 コード・ネーム(C, F, G, D, A)が理解でき伴奏付けができるようになる。「たなばたさま」、「うみ」。</p>
4	<p>【到達目標】 楽典(楽譜の理解)。</p> <p>【授業内容】 楽典「大譜表」「音名」が理解できる。「ぶんぶんぶん」。</p>	12	<p>【到達目標】 前期定期試験の準備を始める。生活の歌「おかえりのうた」の習得。</p> <p>【授業内容】 前期試験を展望したピアノ曲の習得。「おつかいありさん」、「シャボン玉」。</p>
5	<p>【到達目標】 楽典、保育活動における「生活の歌」の理解。</p> <p>【授業内容】 楽典「大譜表」「音名」が理解できる。「はをみがきましょう」。</p>	13	<p>【到達目標】 季節の歌(夏)の習得が出来る。</p> <p>【授業内容】 季節の歌「夏」の習得、弾き歌い。定期試験の試験曲を決める。「おばけなんてないさ」。</p>
6	<p>【到達目標】 楽典、保育活動における「生活の歌」の理解。</p> <p>【授業内容】 楽典「大譜表」「音名」が理解できる。「かわいいかくれんぼ」。</p>	14	<p>【到達目標】 前期定期試験の準備とリハーサル。</p> <p>【授業内容】 前期定期試験のピアノ曲と弾き歌い曲の練習と習得。「アイスクリームのうた」。</p>
7	<p>【到達目標】 生活の歌、打楽器の奏法理解。</p> <p>【授業内容】 打楽器の正しい演奏法が分かる。「かたつむり」。</p>	15	<p>【到達目標】 定期試験を行い、前期の到達度を理解する。</p> <p>【授業内容】 前期で学習したピアノ曲1曲と季節の歌弾き歌いの計2曲を演奏する。</p>
8	<p>【到達目標】 中間試験を行い、前期前半の到達度を理解する。</p> <p>【授業内容】 前期前半部の目標が達成できている(ピアノと楽典)。「音名とコードネーム」の理解ができる。「すてきなパパ」、「とけいのうた」。</p>	<p>【評価について】</p> <p>実技試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。</p> <p>○成績評価</p> <p>点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価</p> <p>※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)</p>	
<p>【特記事項】</p>			

科目名 (英)	図工 Arts and crafts education	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	川口 麗
		授業形態	演習	総単位時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 月曜 1・2限
学科・コース	保育士科						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
美術科修士課程修了。美大予備校、カルチャー教室、自宅アトリエ、幼稚園アート教室にて、大人や子どもの創作活動に携わる。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目は、子どもの表現力や創造力を育むための基礎知識を学ぶ制作演習である。 美術教育の立場から、現状や観点を伝える。							
【到達目標】							
・発達段階に応じた絵画造形の基礎を学び、創作活動を適切に指導する技術を身に付ける。 ・材料や画材の知識を深め、表現に適した選択ができる。 ・表現の楽しさを学び、伝えることができる。他者の表現に寄り添うことができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 教員の指示に従い準備をすること(スケッチブック、画材など)				【授業外における学習】 想像力を広げたい。日常の中で興味深く観察する視点を持ち制作に活かす。			
回	授業概要	回	授業概要				
1	【到達目標】 幼児の表現に関心を持ち、画材の種類を知る。 【授業内容】 講義 「前期の振り返り。作品紹介。」	9	【到達目標】 道具と技法を知る。アートセラピーを体験する。 【授業内容】 演習 臨床美術課題「色のアラベスク」				
2	【到達目標】 パネルシアター、スケッチブックシアター、マジックシアター、動く工作について知る。 【授業内容】 講義 「作品紹介。講師による実演。」	10	【到達目標】 道具と技法を知る。 【授業内容】 演習 「アクリル画」				
3	【到達目標】 クリニカルアート、アートセラピーについて知る。 【授業内容】 講義 「作品紹介。臨床美術分野での活動意義。」	11	【到達目標】 演習で学んだ技法の実践と復習、応用。 【授業内容】 演習 「絵本制作①」				
4	【到達目標】 道具と技法を知る。 【授業内容】 演習 「絞り染め」	12	【到達目標】 演習で学んだ技法の実践と復習、応用。 【授業内容】 演習 「絵本制作②」				
5	【到達目標】 道具と技法を知る。 【授業内容】 演習 「飛び出すカード」	13	【到達目標】 演習で学んだ技法の実践と復習、応用。 【授業内容】 演習 「絵本制作③」				
6	【到達目標】 道具と技法を知る。 【授業内容】 演習 「変わり絵、マジックシアター」	14	【到達目標】 演習で学んだ技法の実践と復習、応用。 【授業内容】 演習 「絵本制作④」				
7	【到達目標】 紙ねんどの特性をふまえ、材料と技法を知る。 【授業内容】 演習 「紙ねんど制作」	15	【到達目標】 演習で学んだ技法の実践を通し、一冊の本にする。他者の作品を観察し今後の参考にできる。 【授業内容】 演習 「絵本制作⑤ 展示会」				
8	【到達目標】 デッサンとコラージュを組み合わせ、幼児向けに制作する過程を知る。 【授業内容】 演習 「果物のデッサンコラージュ」		【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)				
【特記事項】 他者の表現に興味を持ち観察してみよう。							

科目名 (英)	総合福祉技術(介護) Basic Nursing Care	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	高橋 亜希子
		授業 形態	演技	総単位 時間	30時間	開講区分 曜日・時間	後期 金曜 2/3限

【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)

特別養護老人ホーム「ディサービス」 リハビリ病院

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

介護の基礎を学び、介護技術を習得する。また、学んだ内容を実際の「演習」で確認し、身体機能や状態に合わせ、お互いの「安全、安楽、安心、自立、尊厳」を心掛けた介護技術の習得する授業を行う。

【到達目標】

常に「利用者様」の立場に立って「支援」できるようになり、自ら進んで行動することができ、「介護支援」は、身体介護をするものではないことが理解できる。

【使用教科書・教材・参考書】

動きやすい服装 室内履き 髪の毛・爪など介護支援に相応しい身だしなみを整えて出席すること。

【授業外における学習】

回	授業概要	回	授業概要
1	<p>【到達目標】 お互いの自己紹介を行うことで、コミュニケーションを図る。</p> <p>【授業内容】 オリエンテーション 授業の進め方と評価の方法についての説明を行う。介護のイメージを教えてください。</p>	9	<p>【到達目標】 ボディメカニクスを意識した「起き上がり」の介助を習得することができる。</p> <p>【授業内容】 起き上がりの介助…常に声掛けを意識し、「臥床」⇒「座位」⇒「立位」の手順を習得する。</p>
2	<p>【到達目標】 環境整備の意味を理解し、効率的なベットメイキングとシーツ交換の手順を習得することができる。</p> <p>【授業内容】 環境整備とベットメイキング…ボディメカニクスをいかした介護技術を習得するために、シーツ交換の際の体の動かし方を意識する。</p>	10	<p>【到達目標】 ボディメカニクスを意識した「歩行」の介助を習得することができる</p> <p>【授業内容】 移動と移乗の介助…ボディメカニクスを意識した「歩行」の介助を習得することができる</p>
3	<p>【到達目標】 「声掛け」を意識することで、「安全、安心、安楽、自立、尊厳」を理解することができる。</p> <p>【授業内容】 ベット上に利用者様が臥床したまでのシーツ交換…声掛けを意識して、いろいろな体位を覚えながらシーツの交換を行う。</p>	11	<p>【到達目標】 ボディメカニクスを意識した「移乗」の介助を習得することができる</p> <p>【授業内容】 移動と移乗の介助①…ボディメカニクスを意識した「車いすへの移乗」の介助を習得することができる</p>
4	<p>【到達目標】 「脱健着意」を理解することができる。</p> <p>【授業内容】 衣類の着脱①…座ったままの状態で利用者様の「衣類の着脱」を行う。(上着のみ)</p>	12	<p>【到達目標】 声掛けを意識した介助を行うことで、より現場に適した技術を習得することができる。</p> <p>【授業内容】 移動と移乗の介助②…ボディメカニクスを意識した「車いすへの移乗」の介助を習得することができる</p>
5	<p>【到達目標】 声掛けを意識した「着脱」を行うことができる。</p> <p>【授業内容】 衣類の着脱②…ベットに寝たままの状態で利用者様の「衣類の着脱」を行う。</p>	13	<p>【到達目標】 声掛けを意識した介助を行うことで、より現場に適した技術を習得することができる。</p> <p>【授業内容】 実際の「利用者」がいることを意識しながら「移乗の介助」を行う</p>
6	<p>【到達目標】 色々な形状の衣類の「着脱方法」を習得することができる。</p> <p>【授業内容】 衣類の着脱…③…座ったままの状態で利用者様の「衣類の着脱」を行う(上下) 被りの衣類</p>	14	<p>【到達目標】 学習内容を振り返ることで、自分に足りない技術を確認することができる。</p> <p>【授業内容】 「期末テスト」へ向けての振り返り</p>
7	<p>【到達目標】 学習内容を振り返ることで、自分に足りない技術を確認することができる。</p> <p>【授業内容】 「中間テスト」へ向けての振り返り。</p>	15	<p>【到達目標】</p> <p>【授業内容】 期末テスト</p>
8	<p>【到達目標】 「中間テスト」を行うことで、前期の学習理解の状態を知る事ができる。</p> <p>【授業内容】 「中間テスト」</p>		<p>【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価</p>
【特記事項】			

科目名 (英)	英会話 English Conversation	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	海老原 孝一	
		授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 金曜 2,3限	
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 公立の小中学校で教育職員をした後、海外の日本人学校や幼稚園で18年間教育・運営を行う。帰国後保育士養成に携わる。								
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 日常で使う英語表現を学びながら、保育士・幼稚園教諭が現場で必要とする英語・英会話に特化した学習を行う。具体的には、幼児教育で使われる英単語、英語の歌、英語のゲーム、おたよりの翻訳、保育現場で想定される英会話、英語の紙芝居、英語を用いた製作活動、英語劇などである。また校外に出て、動物園や水族館の引率や説明を英語で行ったりもする。								
【到達目標】 ・外国语学習を通して、異言語や異文化への抵抗意識が少なくなる。 ・日常会話および児童福祉分野に関する基礎的な英会話力を習得する。 ・外国语学習や活動を通して、異なるものを認め、それを受け入れる態度を身につける。								
【使用教科書・教材・参考書】 必要資料は授業時に教員が配付する。				【授業外における学習】 予習や復習、資料準備などを事前に連絡する。				
回	授業概要	回	授業概要					
1	【到達目標】 英語のゲームを考えたり、それを楽しむことができる。 【授業内容】 英語のゲームを楽しもう①	9	【到達目標】 海外の秋祭りを知り、活動を楽しむことができる。 【授業内容】 海外の秋の祭りを楽しもう①					
2	【到達目標】 英語のゲームを考えたり、それを楽しむことができる。 【授業内容】 英語のゲームを楽しもう②	10	【到達目標】 海外の秋祭りを知り、活動を楽しむことができる。 【授業内容】 海外の秋の祭りを楽しもう②					
3	【到達目標】 英語の映画を鑑賞し、楽しむことができる。 【授業内容】 英語の映画を楽しもう①	11	【到達目標】 海外のクリスマスを知り、理解することができる。 【授業内容】 クリスマス会の計画・準備をしよう①					
4	【到達目標】 英語の映画を鑑賞し、楽しむことができる。 【授業内容】 英語の映画を楽しもう②	12	【到達目標】 クリスマス会の準備を協力して行うことができる。 【授業内容】 クリスマス会の計画・準備をしよう②					
5	【到達目標】 日常生活で使う英語の表現を知り、使うことができる。 【授業内容】 とつさの英会話①	13	【到達目標】 クリスマス会の準備をして、会を楽しむことができる。 【授業内容】 クリスマス会を楽しもう！					
6	【到達目標】 日常生活で使う英語の表現を知り、使うことができる。 【授業内容】 とつさの英会話②	14	【到達目標】 こどもや利用者が楽しくできる歌やゲーム、活動を考えて指導案を書くことができる。 【授業内容】 英語の歌やゲームなど活動を考えて、指導案にしてみよう。					
7	【到達目標】 大好きな英語の歌を歌うことができる。 【授業内容】 英語で歌ってみよう①	15	【到達目標】 英語活動の指導案を書くことができる。 授業1～授業14を振り返り、定期試験を受けることができる。 【授業内容】 英語活動の指導案を書く。 【定期テスト】学習したこと振り返り、テストに臨む。					
8	【到達目標】 大好きな英語の歌を歌うことができる。 中間テストに取り組むことができる。 【授業内容】 英語で歌ってみよう② 【中間テスト】これまで学習した内容から		【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点=A評価 点数 89～80点=B評価 点数 79～70点=C評価 点数 69～60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)					
【特記事項】 受講者の状況に合わせて、内容や学習の順番を変更する場合があります。								

科目名 (英)	教育原理 Basic Study for Child Education	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	海老原 孝一			
		授業形態	講義	総単位時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 水曜 1限			
学科・コース	保育土科									
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 公立の小中学校で教育職員をした後、海外の日本人学校や幼稚園で18年間教育・運営を行う。帰国後保育士養成に携わる。										
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 教育の意義、歴史、現代教育の目的、教育がもたらす効果、教育に関わる時事問題、世界の教育等について、講師の経験を織り交ぜながら講義・演習を行う。受講者の主体性と表現能力を伸長する授業や活動を行う。										
【到達目標】 教育の意義と重要性について理解し、保育や幼児教育の場面において、学習したことを対象となるこどもや利用者の養育・教育に活かそうとする意欲と態度を身に着ける。										
【使用教科書・教材・参考書】 新基本保育シリーズ「教育原理」				【授業外における学習】 予習や復習、資料準備などを事前に連絡する。						
回	授業概要			回	授業概要					
1	【到達目標】 教育の意義について理解する。 【授業内容】 教育の意義			9	【到達目標】 子ども観と教育観について、自己の考え方を振り返る。 【授業内容】 子ども観と教育観					
2	【到達目標】 教育の目的とは何かを理解する。 【授業内容】 教育の目的			10	【到達目標】 教育制度について知る。 【授業内容】 教育制度の基本					
3	【到達目標】 幼児教育の特性について理解する。 【授業内容】 幼児教育の特性			11	【到達目標】 教育の法律と行政について知る。 【授業内容】 教育の法律と行政					
4	【到達目標】 教育と子ども家庭福祉の関連性について理解する。 【授業内容】 教育と子ども家庭福祉の関連性			12	【到達目標】 諸外国の教育制度を理解する。 【授業内容】 諸外国の教育制度					
5	【到達目標】 人間形成と家庭・地域社会の関連について理解する。 【授業内容】 人間形成と家庭・地域社会			13	【到達目標】 教育に関わる者としての態度を培う。 【授業内容】 教育実践の基礎					
6	【到達目標】 諸外国の教育思想について知る。 【授業内容】 諸外国の教育思想			14	【到達目標】 さまざまな教育実践について知る。 【授業内容】 さまざまな教育実践					
7	【到達目標】 諸外国の教育の歴史について知る。 【授業内容】 諸外国の教育の歴史			15	【到達目標】 生涯学習について関心を持つ。 授業1～授業15を振り返り、定期試験を受けることができる。 【授業内容】 生涯学習社会における教育の現状と課題 【定期テスト】学習したことを振り返り、テストに臨む。					
8	【到達目標】 日本の教育思想・歴史について知る。 【授業内容】 日本の教育思想・歴史			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点=A評価 点数 89～80点=B評価 点数 79～70点=C評価 点数 69～60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)						
【特記事項】 受講者の状況に合わせて、内容や学習の順番を変更する場合があります。										

科目名 (英)	国際教育 Oversea fieldwork	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	村田 和也・浅子 元・沼澤 佳樹江 上條友葉・濱渦 咲希・海老原孝一	
		授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 集中	
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・ドイツ フランクフルト日本人国際学校/幼稚園での教育活動を行う。								
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行なうか) 国外での研修、または国内での研修を通して、他国の文化や考え方につれて学ぶことができるよう授業を開設していく。 豊かな国際感覚を身につけるとともに、保育・福祉の現場経験をもつ職員が、学びと実践がつながるように授業を開設していく。								
【到達目標】 福祉先進国の施設や、現地の子ども、学生との交流を通して、日本の福祉・保育の問題点を理解し国際感覚を身につける。国内で実施する場合においても、国際感覚を豊かにし、多様な視点をもって福祉・保育を考えることができる力を身につける。								
【使用教科書・教材・参考書】 必要資料はその都度配付する。				【授業外における学習】 新聞やニュースなど、視野を広げ自ら情報を取得し、国際的感性を豊かにしてほしい。				
回	授業概要	回	授業概要					
1	【到達目標】 授業のスケジュール、目標、評価方法について理解する。 【授業内容】 オリエンテーション	9	【到達目標】 国際感覚を豊かにし、福祉・保育について幅広い視野をもつことができる。また、学びと実践のつながりを考えることができる。 【授業内容】 国際教育プログラム⑧					
2	【到達目標】 国際感覚を豊かにし、福祉・保育について幅広い視野をもつことができる。また、学びと実践のつながりを考えることができる。 【授業内容】 国際教育プログラム①	10	【到達目標】 国際感覚を豊かにし、福祉・保育について幅広い視野をもつことができる。また、学びと実践のつながりを考えることができる。 【授業内容】 国際教育プログラム⑨					
3	【到達目標】 国際感覚を豊かにし、福祉・保育について幅広い視野をもつことができる。また、学びと実践のつながりを考えることができる。 【授業内容】 国際教育プログラム②	11	【到達目標】 国際感覚を豊かにし、福祉・保育について幅広い視野をもつことができる。また、学びと実践のつながりを考えることができる。 【授業内容】 国際教育プログラム⑩					
4	【到達目標】 国際感覚を豊かにし、福祉・保育について幅広い視野をもつことができる。また、学びと実践のつながりを考えることができる。 【授業内容】 国際教育プログラム③	12	【到達目標】 国際感覚を豊かにし、福祉・保育について幅広い視野をもつことができる。また、学びと実践のつながりを考えることができる。 【授業内容】 国際教育プログラム⑪					
5	【到達目標】 国際感覚を豊かにし、福祉・保育について幅広い視野をもつことができる。また、学びと実践のつながりを考えることができる。 【授業内容】 国際教育プログラム④	13	【到達目標】 国際感覚を豊かにし、福祉・保育について幅広い視野をもつことができる。また、学びと実践のつながりを考えることができる。 【授業内容】 国際教育プログラム⑫					
6	【到達目標】 国際感覚を豊かにし、福祉・保育について幅広い視野をもつことができる。また、学びと実践のつながりを考えることができる。 【授業内容】 国際教育プログラム⑤	14	【到達目標】 国際感覚を豊かにし、福祉・保育について幅広い視野をもつことができる。また、学びと実践のつながりを考えることができる。 【授業内容】 国際教育プログラム⑬					
7	【到達目標】 国際感覚を豊かにし、福祉・保育について幅広い視野をもつことができる。また、学びと実践のつながりを考えることができる。 【授業内容】 国際教育プログラム⑥	15	【到達目標】 これまでの学びを総括し発表することができる。 【授業内容】 定期試験					
8	【到達目標】 国際感覚を豊かにし、福祉・保育について幅広い視野をもつことができる。また、学びと実践のつながりを考えることができる。 【授業内容】 国際教育プログラム⑦	【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席率が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)						
【特記事項】 集中授業であるのでスケジュールを自身でよく確認し授業に参加すること。								

科目名 (英)	子どもの食と栄養 Infant nursing Care	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	関口 弘子
		授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 水曜 2限
学科・コース	保育士科						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
長きに渡り、栄養士養成施設において、栄養学、栄養指導論、栄養指導論実習などの科目を担当。現在はクリニックで食事や運動指導を行っている。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行なうか)							
本科目は、食生活の意義について学び、栄養に関する基本的な知識を習得する。自身の食生活や健康を振り返るとともに、乳幼児期においての食生活の重要性について主体的に考える力を養う。基本的な栄養学の知識を学び、成長期の体のしくみや食事のとり方などを習得する。幼児教育の現場において、子どもたちに安全、かつ適切な食事指導ができる能力を持つ保育士になるべく本科目を受講して欲しい。							
【到達目標】							
・健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的な知識を習得する。子どもの発育・発達と食生活の関連について理解する。 ・保育における食育の意義、目的、基本的考え方、その内容等について理解する。 ・家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について理解する。また特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
・「新基本保育シリーズ⑫子どもの食と栄養」中央法規				専門用語が多いので、授業で行った内容を次回の授業までに復習してくること。 小テストの結果を見直し、不正解だった箇所があれば正しく覚えなおすこと。			
回	授業概要	回	授業概要				
1	【到達目標】 授業の進め方と評価方法を知ることができる。 栄養の基礎的な用語を知ることができる。 【授業内容】 授業の進め方と概要。普段の食生活を考える。	栄	【到達目標】 1日に必要なエネルギーと栄養素の量を知ることで、子どもの成長過程に役立つ栄養の摂り方を習得することができる。 【授業内容】 厚生労働省から提示されている1日の食事摂取基準について	9			
2	【到達目標】 5つの栄養素の種類と、基本的な働きを習得することができる。 【授業内容】 五大栄養素の概要		【到達目標】 摂取した食物がどのように消化吸収されるかを理解し、効率的な栄養の摂り方を知ることができる。 【授業内容】 消化管の働き	10			
3	【到達目標】 炭水化物の分類と、それぞれの働きの違いを知ることができる。 水化物の栄養の役割を知ることができる。 【授業内容】 炭水化物の種類と働き	炭	【到達目標】 吸収された栄養素が、体内でどのように利用されるかを学び、食事と健康との関りを理解することができる。 【授業内容】 エネルギー代謝について	11			
4	【到達目標】 脂質の分類と、それぞれの働きの違いを知ることができる。 また、脂質の栄養の役割を知ることができる。 【授業内容】 脂質の種類と働き	ま	【到達目標】 水分代謝と子どもに起こりやすい熱中症についての理解を深めることができる。また話題の機能性成分の種類と栄養効果を知る。 【授業内容】 水分代謝とフィトケミカル	12			
5	【到達目標】 タンパク質の分類と、それぞれの働きの違いを知ることができる。成長期における良質タンパク質の摂取方法を習得することができる。 【授業内容】 タンパク質の種類と働き		【到達目標】 バランスの良い食事の知識や考え方を学び、子どもの食生活に活かす方法を習得することができる。 【授業内容】 エネルギー比率と1日の栄養配分について(栄養バランス)	13			
6	【到達目標】 ビタミンの種類とそれぞれの働きを知ることができる。過剰症、欠乏症など、ビタミンを摂る際の注意すべきことも知ることができる。 【授業内容】 ビタミンの種類と働き		【到達目標】 献立の立て方のポイントを学び、栄養バランスのとれた献立を考える能力を身に付けることができる。 【授業内容】 献立を考える際のポイントと調理における注意点	14			
7	【到達目標】 ミネラルの種類と、それぞれの働きを知ることができる。 長期の骨を強くるための、ミネラル摂取方法を学ぶことができる。 【授業内容】 ミネラルの種類と働き	成	【到達目標】 日常生活における栄養バランスのとり方を、身に着けることができる。 【授業内容】 期末試験	15			
8	【到達目標】 前半の授業ふりかえりをすることで、栄養学の基本を見直すことができる。 【授業内容】 前半の授業のふり返り。中間試験。		【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)				
【特記事項】							
毎授業において板書のほか、大切と思われる部分はメモをとること。							

科目名 (英)	乳児保育Ⅱ Infant nursing Care II	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	坂本 美登里
		授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 木曜 3限
学科・コース	保育士科						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
私立保育園に長年勤務し、乳幼児の保育に携わる。また、児童養護施設に勤務経験あり。現在は小規模保育園で0・1・2歳児の子どもたちを保育している。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行なうか)							
本科目では、3歳未満児の発達の特徴を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解し、養護と教育の一体化を踏まえた乳児保育の基本を理解して欲しい。乳児期の保育が子どもの生きる力の基礎を養うことを踏まえ、適切な指導計画が立てられるようになって欲しい。乳児保育の専門性が社会に求められる意義を理解し、現場力を身につけて欲しい。							
【到達目標】							
・3歳未満児の発育・発達を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解する。 ・養護及び教育の一体化を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解する。 ・乳児保育における配慮の実際、計画の作成について具体的に理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
・「はじめて学ぶ乳児保育 第2版」同文書院 教員の指示により、必要な物品を各自用意すること。							
回	授業概要	回	授業概要	回	授業概要	回	授業概要
1	【到達目標】 乳児保育の技術の基礎を理解する① 【授業内容】 新生児の抱き方・着替え・おむつ交換	9	【到達目標】 小麦粉粘土を作りその遊びを体験することで、0・1・2歳児の発達を理解することができる。 【授業内容】 感覚遊びに取り組む0・1・2歳児について学びを深める。	10	【到達目標】 0・1・2歳児の発達に合った絵本を選ぶことができ、読みきかせをすることができる。 【授業内容】 絵本についての基礎知識や楽しみ方を理解し、自分で選んだ絵本をグループワークで読み聞かせする。	11	【到達目標】 読み聞かせの技術をみにつけ、ごっこ遊びにつながる絵本を知り、ごっこ遊びを体験することで、楽しい遊びの作り方を知る。 【授業内容】 遊びにつながる絵本を知り、読み聞かせ実践として自分の好きな絵本をグループワークで発表する。絵本のごっこ遊びを体験する。
2	【到達目標】 乳児保育の技術の基礎を理解する② 【授業内容】 新生児の授乳・調乳	10	【到達目標】 0・1・2歳児の遊びの世界を理解し、発達に合ったおもちゃを選定でき、みたてつもり遊びに必要な技術をみにつけることができる。 【授業内容】 発達に合わせたおもちゃを理解し、乳児と楽しく遊ぶ技術を学ぶ。タオル遊び	11	【到達目標】 離乳食についての基礎的な知識と、食事の介助の方法を理解する。また、1・2歳児の食事やアレルギー食への知識を深める。 【授業内容】 離乳食の試食を通じて乳児の食べ方を体験し、離乳食の介助方法を知る。	12	【到達目標】 定期テストで授業の振り返りができる① 【授業内容】 定期テスト①実技試験「だっこ」「おむつ交換」
3	【到達目標】 0歳児の発達を理解するとともに、遊びながら発達を促すベビーマッサージの技術を身につけることができる。 【授業内容】 赤ちゃん人形を使ったベビーマッサージ	11	【到達目標】 読み聞かせの技術をみにつけ、ごっこ遊びにつながる絵本を知り、ごっこ遊びを体験することで、楽しい遊びの作り方を知る。 【授業内容】 遊びにつながる絵本を知り、読み聞かせ実践として自分の好きな絵本をグループワークで発表する。絵本のごっこ遊びを体験する。	13	【到達目標】 離乳食についての基礎的な知識と、食事の介助の方法を理解する。また、1・2歳児の食事やアレルギー食への知識を深める。 【授業内容】 離乳食の試食を通じて乳児の食べ方を体験し、離乳食の介助方法を知る。	12	【到達目標】 定期テストで授業の振り返りができる② 【授業内容】 定期テスト②筆記試験「乳児保育Ⅱの振り返り」
4	【到達目標】 描画活動の発達について理解し、0・1・2歳児の描画・造形活動について計画することができる。 【授業内容】 0・1・2歳児の描画活動の理解を深める。 動:トランスペイントの製作	12	【到達目標】 定期テストで授業の振り返りができる③ 【授業内容】 定期テスト③実技試験「だっこ」「おむつ交換」	13	【到達目標】 定期テストで授業の振り返りができる④ 【授業内容】 定期テスト④筆記試験「乳児保育Ⅱの振り返り」	14	【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)
5	【到達目標】 視覚的教材を作成し、教材を使った保育の技術を獲得する。 【授業内容】 手袋シスターを作成する。	13	【到達目標】 定期テストで授業の振り返りができる⑤ 【授業内容】 定期テスト⑤実技試験「だっこ」「おむつ交換」	14	【到達目標】 定期テストで授業の振り返りができる⑥ 【授業内容】 定期テスト⑥筆記試験「乳児保育Ⅱの振り返り」	15	【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)
6	【到達目標】 視覚的教材を作成し、教材を使った保育の技術を獲得する。 【授業内容】 手袋シスターを作成する。	14	【到達目標】 定期テストで授業の振り返りができる⑦ 【授業内容】 定期テスト⑦実技試験「だっこ」「おむつ交換」	15	【到達目標】 定期テストで授業の振り返りができる⑧ 【授業内容】 定期テスト⑧筆記試験「乳児保育Ⅱの振り返り」	16	【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)
7	【到達目標】 視覚教材を作成し、保育教材を使った保育の指導案を作成することができる。 【授業内容】 手袋シスターを使用した部分実習の指導案を作成する。	15	【到達目標】 定期テストで授業の振り返りができる⑨ 【授業内容】 定期テスト⑨筆記試験「乳児保育Ⅱの振り返り」	16	【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)	17	【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)
8	【到達目標】 視覚的教材を使った保育の技術を獲得する。 【授業内容】 手袋シスターの発表を行う。 スト	16	【到達目標】 定期テストで授業の振り返りができる⑩ 【授業内容】 定期テスト⑩筆記試験「乳児保育Ⅱの振り返り」	17	【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)	18	【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)
【待記事項】							

科目名 (英)	情報リテラシー Literacy for information	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	BSC(ブレーンスタッフコンサルタント)
		授業形態	演習	総単位時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 火曜 3限
学科・コース	保育士科						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
プログラマー、Webデザイナー、パソコン教室の講師、ITコンサルタントなどの実績を持つ所属インストラクターが講義を実施する							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
滋慶学園グループ所属企業の(株)ブレーンスタッフコンサルタントのラーニングマネージャーが、卒業研究や就職後に必須となるパソコンスキルについて講義を実施。Wordのビジネス文書作成や、PowerPointのプレゼンテーションスライド作成を基礎から学習。 学生に必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用。							
【到達目標】							
・タイピングの基礎を身に付ける ・Wordを利用し、複合文書の作成ができる。 ・PowerPointを利用し、効果的なスライドの作成ができる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
滋慶学園グループの学生に必要なスキルに特化した、 オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用				e-learningテキストで操作方法を確認し、 繰返し練習することでスキルを定着する			
回	授業概要	回	授業概要				
1	【到達目標】 CCT入門1 講座を受講する意義やe-learningの操作方法を理解し、PCの基本操作をおこなえる 【授業内容】 ・eラーニングテキストのログイン ・Web検索、PCトラブル時解決	9	【到達目標】 PowerPoint1(基本操作) プレゼンテーションソフトの基本操作ができる 【授業内容】 1.テーマとパリエーション 2.プレースホルダー 3.箇条書きのレベル変更 4.スライド 5.ノートの作成				
2	【到達目標】 CCT入門2 ITリテラシーを理解してルールを守ったICT活用をおこなえる 【授業内容】 ・ITリテラシー 　・タイピング 　・Web検索	10	【到達目標】 PowerPoint2(表現力を上げる) 図形や画像を活用したスライドを作成できる 【授業内容】 1.ワードアート 2.画像の挿入 3.テキストボックス 4.図形作成 5.図形の調整 6.削除				
3	【到達目標】 CCT入門4 Officeの基本操作ができる 【授業内容】 ・Officeの共通操作 　・基本操作(Excel)	11	【到達目標】 PowerPoint3(動きを付ける) スライドに動きを付け、全てのスライドを完成できる 【授業内容】 1.画面切り替え効果の設定 2.アニメーション効果の設定 3.スライドショー 4.印刷 5.リハーサル				
4	【到達目標】 Word基礎1 文書作成ソフトを使って、効率的にビジネス文書を作ることができる 【授業内容】 1.ビジネス文書とは 2.ページ設定 3.インデント 4.箇条書きと段落番号 5.均等割り付け 6.表の作成	12	【到達目標】 PowerPoint フォントや配色などを工夫して見やすいスライドに編集できる 【授業内容】 1.レイアウト 2.フォント 3.効果的な表現方法 4.色の活用				
5	【到達目標】 Word基礎2 画像や图形を駆使した文書を作成できる 【授業内容】 1.图形や画像を駆使した文書 2.画像の編集 3.テキストボックス 4.Excelグラフの貼り付け 5.图形の編集	13	【到達目標】 実習日誌作成 実習日誌を作成できる 【授業内容】 1.実習日誌 データダウンロード、作成、保存				
6	【到達目標】 Word基礎3 表を駆使した文書を作成できる 【授業内容】 1.表を駆使した文書 2.表の基本 3.複雑な表の作成 4.表の編集	14	【到達目標】 PowerPoint試験対策問題 PowerPoint基礎で習ったことを実践できる 【授業内容】 PowerPoint復習問題の実施				
7	【到達目標】 Word試験対策 Word基礎1-3で学んだスキルを実践して文章作成できる 【授業内容】 Word復習問題を実施	15	【到達目標】 PowerPoint試験 前期試験 【授業内容】 前期試験				
8	【到達目標】 Word中テスト 前期中テスト 【授業内容】 前期中テスト		【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)				
【特記事項】							

科目名 (英)	保育の計画と評価	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	林 亜貴	
	Planning and evaluation for nursery care							
学科・コース	保育士科	授業形態	講義	総単位時間	30	開講区分曜日・時間	後期 月曜 3限	
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)								
幼稚園教諭としてクラス担任としての経験を有する。子どもの主体性を尊重した保育、同僚と協同して作り上げる保育を実践してきた。								
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行なうか)								
本科目は、保育における計画や評価について学ぶ科目である。実際に計画・実践・評価をするなかで、様々な視点で保育を計画することの重要性や子ども理解を深める重要な性について学ぶ。現場経験を活かし、実際の保育現場においてどのように保育の計画・評価が行われているのかエピソードを踏まえながら伝え、保育や保育現場のイメージが持てるよう授業を進める。								
【到達目標】								
・保育内容の充実と質の向上に資する保育の計画及び評価について理解する。 ・全体的な計画と指導計画の作成について、その意義と方法を理解する。 ・子どもの理解に基づく計画、実践、省察・評価、改善の過程についてその全体構造を捉え、理解する。								
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】				
・「保育所保育指針ハンドブック2017年告示版イラストたっぷりやさしく読み解く」 ・「新訂知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育所・児童福祉施設等 実習ガイド」				授業内容に応じて、予め教科書を読み、授業後もノートや配付プリントを振り返り復習をし、学んだことを身につける。				
回	授業概要	回	授業概要	回	授業概要	回	授業概要	
1	【到達目標】 授業の内容や持ち物、評価について理解することができる。 【授業内容】 授業オリエンテーション、保育計画の意義と必要性	9	【到達目標】 子どもの姿や保育を肯定的に捉える視点を養い、適切に表現することができる。 【授業内容】 ポートフォリオ作成	10	【到達目標】 絵本の読み聞かせを保育に取り入れる意味を理解し、実践時の留意点の確認をする。指導案作成を視野に入れた絵本選びができる。 【授業内容】 指導案作成:絵本の読み聞かせ	11	【到達目標】 絵本の教材研究を行い理解を深めた上で、指導案を作成することができる。 【授業内容】 教材研究に基づいた指導案作成	
2	【到達目標】 保育における計画の種類、関係性を理解することができる。 【授業内容】 保育計画の種類と指針・要領	10	【到達目標】 絵本の読み聞かせを保育に取り入れる意味を理解し、実践時の留意点の確認をする。指導案作成を視野に入れた絵本選びができる。 【授業内容】 指導案作成:絵本の読み聞かせ	11	【到達目標】 自身の実習先の調べ学習を行い、実際の実習で行う保育の指導案を考えることができる。 【授業内容】 実習での指導案作成	12	【到達目標】 指導案に基づき実践し、実践から保育や指導案を振り返ることができる。 【授業内容】 指導案を元にした保育実践	
3	【到達目標】 保育における環境の重要性を理解し、保育者の意図を踏まえた保育計画の作成を意識することができる。 【授業内容】 保育環境と保育者の意図	11	【到達目標】 絵本の教材研究を行い理解を深めた上で、指導案を作成することができる。 【授業内容】 教材研究に基づいた指導案作成	12	【到達目標】 自身の実習先の調べ学習を行い、実際の実習で行う保育の指導案を考えることができる。 【授業内容】 実習での指導案作成	13	【到達目標】 自身の実習先の調べ学習を行い、実際の実習で行う保育の指導案を考えることができる。 【授業内容】 実習での指導案作成	
4	【到達目標】 子どもの姿から子どもの心情等を読み取り、自分の考えを共有することができる。 【授業内容】 子ども理解	12	【到達目標】 自身の実習先の調べ学習を行い、実際の実習で行う保育の指導案を考えることができる。 【授業内容】 実習での指導案作成	13	【到達目標】 自身の実習先の調べ学習を行い、実際の実習で行う保育の指導案を考えることができる。 【授業内容】 実習での指導案作成	14	【到達目標】 指導案作成に必要な知識を理解している。保育の留意点や保育者の援助について考え、指導案を立案することができる。 【授業内容】 定期試験	
5	【到達目標】 保育者の関わりや行動から意図を考えることができる。 【授業内容】 保育者の関わりや行動と意図	13	【到達目標】 自身の実習先の調べ学習を行い、実際の実習で行う保育の指導案を考えることができる。 【授業内容】 実習での指導案作成	14	【到達目標】 指導案作成に必要な知識を理解している。保育の留意点や保育者の援助について考え、指導案を立案することができる。 【授業内容】 定期試験	15	【到達目標】 授業内容を振り返り、学びを深めることができる。 【授業内容】 授業・定期試験の振り返り	
6	【到達目標】 記録の意義と基本的な考え方について理解することができる。 日誌を書くときのポイントや書き方を学び、記録することができる。 【授業内容】 記録の意義と作成	14	【到達目標】 指導案作成に必要な知識を理解している。保育の留意点や保育者の援助について考え、指導案を立案することができる。 【授業内容】 定期試験	15	【到達目標】 授業内容を振り返り、学びを深めることができる。 【授業内容】 授業・定期試験の振り返り	16	【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)	
7	【到達目標】 保育所における一日の流れ・時系列での記録の取り方を理解し、保育者の援助について考え記述することができる。 【授業内容】 保育の一日の流れ・時系列の作成	15	【到達目標】 授業内容を振り返り、学びを深めることができる。 【授業内容】 授業・定期試験の振り返り	16	【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)	17	【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)	
8	【到達目標】 保育における評価の意味を知り、多様な評価方法を理解することができる。 【授業内容】 保育における評価	16	【到達目標】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)	17	【到達目標】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)	18	【到達目標】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)	
【特記事項】				【到達目標】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)				【到達目標】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)

科目名 (英)	子どもの健康と安全 Health and safety for childhood	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	皆川 紘子	
		授業形態	講義	総単位時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 火曜 1限	
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 救急看護認定看護師として新生児・乳児・幼児の看護に携わり、虐待対応や保護者対応、保育園へ訪問し保育士に対する指導などに携わっている。								
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行なう) 保育士として子どもの健康の保持増進に必要な知識や技術の基礎を習得するための講義を行う。安心で安全が保障される保育を実施するために、子どもの命を預かる重要性と責任を自覚し、理解を深めてほしい。								
【到達目標】 保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助、衛生管理、事故防止及び安全対策、危機管理、災害対策、子どもの体調不良時等に対する適切な対応、保育における感染症対策、保育における健康的対応の基本的な考え方踏まえて子どもの発達や状態等に即した適切な対応、子どもの健康及び安全の管理に関する組織的取り組みや保健活動の計画及び評価等、各項目を関連するガイドラインや近年のデータ等を踏まえ具体的に理解することができる。								
【使用教科書・教材・参考書】 ・「改訂版 子どもの病気・けが 救急&ケアBOOK」世界文化社 ・「子どもの健康と安全」中山書店				【授業外における学習】 医療専門用語や難しい内容も多いので事前学習や予習をして講義を受け、毎回の「小テスト」を繰り返し行い学習内容の定着を目指して下さい。				
回	授業概要	回	授業概要	回	授業概要	回	授業概要	
1	【到達目標】 子どもの健康と安全を学び理解することができる。 【授業内容】 子どもの成長発達と健康 子供の健康に影響するもの 子どもを取り巻く環境と安全	9	【到達目標】 障害を持つ子どもと家族へのかかわり方を学び理解することができる。 【授業内容】 障害の概念	10	【到達目標】 障害を持つ子どもと家族へのかかわり方を学び理解することができる。 【授業内容】 障害を伴う病気・症状とそのケア	11	【到達目標】 障害を持つ子どもと家族へのかかわり方を学び理解することができる。 【授業内容】 精神的な障害(発達障害/神経症)とそのケア	
2	【到達目標】 子どもの健康と子育てに必要な養護・しつけを学び理解することができる。 【授業内容】 居住・施設環境・基本的生活習慣・基本生活習慣の確立 日常に必要な養護	12	【到達目標】 障害を持つ子どもと家族へのかかわり方を学び理解することができる。 【授業内容】 特殊なケアの介助方法	13	【到達目標】 災害の影響から子どもをできるだけ守るを学び理解することができる。 【授業内容】 災害の種類と影響 災害に備えて	14	【到達目標】 地域との連携・協働を学び理解することができる。 【授業内容】 子どもにかかる地域ネットワークシステム・保護者と地域における専門職との連携・協働	
3	【到達目標】 子どもの事故とその予防を学び理解することができる。 【授業内容】 子どもの事故の特徴	15	【到達目標】 授業の内容の理解を深め定着することができる。 【授業内容】 定期試験	【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価				
4	【到達目標】 子どもの事故とその予防を学び理解することができる。 【授業内容】 事故やけがの理解と応急処置①	8	【到達目標】 前半の授業を振り返り学び理解することができる。 【授業内容】 事故やけがの理解と応急処置②	【特記事項】 授業内容により実技の追加や複数回で学習する内容に関しては変更もあるため授業コマシラバスを参考にしてください。				

科目名 (英)	カウンセリング演習 Psychology that supports the mind	必修選択	必須	年次	1	担当教員	角田友二
		授業形態	講義	総単位時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 火曜 1限
【実務経験】							
臨床心理士、公認心理師。中学・高等学校の教諭として12年の教育臨床経験がある。専門学校のスクールカウンセラーとして、7年の心理臨床経験がある。							
【授業の学習内容】							
人間関係を形成するために必要な心理学的支援を踏まえたコミュニケーションの意義や機能を学習する。 保育実践にかかるカウンセリングの知識や心の病気について、実践的に学習する。 内省やグループワークの機会を設ける中で、一人ひとりが自己理解と他者理解を深化させ、チームマネジメントの基礎を学び、保育実践場面での素養を醸成する。							
【到達目標】							
対人援助職としてのカウンセリング・マインドの重要性を理解する。 カウンセリングの仕組みを理解し、コミュニケーション活動や援助に役立てる。 「障がい」「心の病気」の考え方、捉え方を身に付ける。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
教員が資料を提示する。				心理学の専門的用語が出てくるので、分からぬ用語はネット検索を用いてもよい。			
回	授業概要	回	授業概要				
1	【到達目標】 カウンセリング技法を理解する 【授業内容】 オリエンテーション、カウンセリング技法1	9	【到達目標】 心理テストを理解する1 【授業内容】 心理テスト1				
2	【到達目標】 カウンセリング技法を理解する 【授業内容】 カウンセリング技法2	10	【到達目標】 心理テストを理解する2 【授業内容】 心理テスト2				
3	【到達目標】 カウンセリング技法を理解する 【授業内容】 カウンセリング技法3	11	【到達目標】 心理テストを理解する3 【授業内容】 心理テスト3				
4	【到達目標】 カウンセリング技法を理解する 【授業内容】 カウンセリング技法4	12	【到達目標】 コミュニケーションスキルを理解する(認知行動療法) 【授業内容】 認知行動療法1				
5	【到達目標】 アートセラピーを理解する1 【授業内容】 アートセラピー1	13	【到達目標】 コミュニケーションスキルを理解する(認知行動療法) 【授業内容】 認知行動療法2				
6	【到達目標】 アートセラピーを理解する2 【授業内容】 アートセラピー2	14	【到達目標】 コミュニケーションスキルを理解する(認知行動療法) 【授業内容】 認知行動療法3				
7	【到達目標】 アートセラピーを理解する3 【授業内容】 アートセラピー3	15	【到達目標】 カウンセリングのまとめをする 【授業内容】 カウンセリング総括、定期試験				
8	【到達目標】 途中経過のおさらいをする 【授業内容】 中間試験、動画鑑賞		【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)				
【特記事項】							
板書したこと等は必ずメモをとること。							

科目名 (英)	保育実習指導 I Guidance for Institution Practical	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	上條 友葉	
		授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 集中	
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 幼稚園教諭として担任業務、実習生指導に携わる。								
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 保育士として乳児院や保育所等にて長年勤務し保育業務や実習生の指導に携わる経験を持つ講師が独自プリント教材や画像を使用し、実習の準備・実施・振り返りをするために必要な知識や技術を身に付け、実りある実習になるための授業を行う。実習は子どもに直接接することの出来る機会であり、保育士の仕事を実際に体験できる貴重な機会である。保育の仕事の喜びを実習で実感するために、十分な準備を経て安心して実習し、効果のある振り返りを行って欲しい。								
【到達目標】 ①保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。②観察や子どもとのかかわりを通して子どもへの理解を深める。③既習の教科の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に学ぶ。④保育の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解する。⑤保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。								
【使用教科書・教材・参考書】 ・「学生・養成校・実習図がともに学ぶこれからの時代の保育者養成・実習ガイド」				【授業外における学習】				
回	授業概要	回	授業概要					
1	【到達目標】 実習全般について理解する事ができ、実習Ⅰ(保育所)についてイメージする事ができる。 【授業内容】 実習オリエンテーション 具体的な事例を基に、実習に向けて準備を始める	9	【到達目標】 実習に向けての思いをクラスメイトと共有し、実習に向かう気持ちや目的を高めることができる。 【授業内容】 グループワーク、決意表明					
2	【到達目標】 実習の目標を立てることができる。 【授業内容】 実習の目的・実習課題の検討	10	【到達目標】 実習を振り返り、10日間の学びを整理する。 【授業内容】 実習の自己評価・個人の振り返りワークシートの作成					
3	【到達目標】 実習における留意事項を理解し、気構え心構えができる。 実習日誌の取り扱いを理解し記載することができる。 【授業内容】 実習における留意事項、実習日誌の記載	11	【到達目標】 グループワークを通じて実習を振り返り、学びの共有を図る。 【授業内容】 実習の振り返りをグループワークで行い、課題や今後の努力目標について明確にする。					
4	【到達目標】 実習日誌について理解し、記入方法を獲得し模擬記入ができる。 【授業内容】 時系列の記入方法を理解する。エピソード記録について理解し、保育所保育指針を照らして保育を理解する視点を身につける。	12	【到達目標】 グループワークでの実習の振り返りまとめ、発表することができる。 【授業内容】 各グループの実習の振り返りについて共有する。					
5	【到達目標】 実習日誌について理解し、記入方法を獲得し模擬記入ができる。 【授業内容】 時系列の記入方法を理解する。エピソード記録について理解し、保育所保育指針を照らして保育を理解する視点を身につける。	13	【到達目標】 施設実習の意義・目的を理解し、分野理解を深めることができる。 【授業内容】 施設実習の意義・目的、施設調べ					
6	【到達目標】 社会人としてのマナーを理解し、実習の気構え身構え心構えができる。 【授業内容】 社会人マナー講習	14	【到達目標】 施設実習の意義・目的を理解し、分野理解を深めることができる。 【授業内容】 施設実習の意義・目的、施設調べ					
7	【到達目標】 社会人としてのマナーを理解し、実習の気構え身構え心構えができる。 【授業内容】 社会人マナー講習	15	【到達目標】 施設実習に向けての配慮事項を理解し、実習にあたっての課題や目標を考えることができる。 【授業内容】 施設実習における配慮事項、実習課題・目標					
8	【到達目標】 実習に向けての思いをクラスメイトと共有し、実習に向かう気持ちや目的を高めることができる。 【授業内容】 グループワーク、決意表明	【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)						
【特記事項】								

科目名 (英)	音楽 Music	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	浅子 元 柿沼 秀子
		授業形態	演習	総単位時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 月曜 1/2限
学科・コース	保育士科						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
保育者養成校にて20年のピアノ・音楽指導を行う。また保育園にてリトミック指導を10年行う。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
長年の音楽(ピアノ)教育の経験から、ピアノ・歌唱のほか、リトミック、打楽器演奏、オペレッタを2002年から専門学校にて指導している。 本科目は、音楽の基礎力(楽典)に注力し保育者として必要とされる音楽技術を学ぶ。基本、毎回の授業でピアノの練習とレッスンを行う。バイエルピアノ教則本の80番までを仕上げる。							
【到達目標】							
・保育者、教育者として必要な基礎的な音楽の技術と理論を習得する。 ・「ピアノを使って楽しく音楽が指導できる人を養成する」を授業の目標とする。 ・バイエルピアノ教則本80番まで。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
・「こどものうた200」チャイルド社 ・「標準バイエルピアノ教則本」全音楽譜出版社				必要な事項は次回の授業までに充分習得しておくことを求めます。ピアノは毎日少しでも練習を積むことが必要です。			
回	授業概要	回	授業概要	回	授業概要	回	授業概要
1	【到達目標】 オリエンテーションを行い後期の到達目標を理解する。生活の歌「さよならのうた」の習得。 【授業内容】 後期の授業のオリエンテーションを行い、年度末の自分の到達点をイメージできるようにする。「とんぼのめがね」。	9	【到達目標】 ピアノ曲の練習と習得をする。	10	【到達目標】 保育の音楽活動の疑似体験をする。	11	【到達目標】 保育の音楽活動の疑似体験をする。
2	【到達目標】 バイエルピアノ教則本の習得。 【授業内容】 「バイエルの作品」を1曲しっかり仕上げる。「世界中のこどもたちが」。	10	【授業内容】 保育の一場面を想定したロール・ブレイングができる①.「お正月」。	12	【到達目標】 定期試験を展望しピアノ曲の練習と習得をする。	13	【到達目標】 弾き歌い曲の練習と習得をする。
3	【到達目標】 生活の歌の習得をする。「おはようのうた」、「あさのうた/D」。 【授業内容】 「生活のうた」を1曲ずつしっかり仕上げる。「おはようのうた」を弾き歌いできるようになる。「どんぐりころころ」、「まつぱっくり」。	11	【授業内容】 保育の一場面を想定したロール・ブレイングができる②.「まめまき」。	12	【到達目標】 ピアノのレッスンと試験対策。「うれしいひなまつり」。	13	【授業内容】 弾き歌い曲の練習とレッスンと試験対策。「思い出のアルバム」、「春がきた」。
4	【到達目標】 季節の歌(秋)の習得をする。 【授業内容】 「秋の季節のうた」を練習し1曲弾き歌いが出来るようになる。「やきいもグーチーバー」、「大きなくりの木の下で」。	12	【到達目標】 定期試験を展望しピアノ曲の練習と習得をする。	13	【到達目標】 弾き歌い曲の練習と習得をする。	14	【到達目標】 後期定期試験の準備。
5	【到達目標】 正しい発声と音程の理解が出来る。 【授業内容】 歌唱:正しい発声と音程で歌うことが出来る。「きのこ」。	13	【授業内容】 弾き歌い曲の練習とレッスンと試験対策。「思い出のアルバム」、「春がきた」。	14	【到達目標】 定期試験により1年間の到達状況を理解する。	15	【授業内容】 定期試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)
6	【到達目標】 生活の歌の習得をする。 【授業内容】 1年生のうちに生活の歌を6曲完成させる。今日で5曲完成する。「どんぐりころころ」、「たきび」。	14	【到達目標】 定期試験曲の練習をして定期試験に備える。「一年生になったら」。	15	【到達目標】 後期で学習したピアノ曲1曲。後期で学習した季節の歌を弾き歌いで1曲。合計2曲を演奏する。課題曲9曲の中から1曲選ぶ。		
7	【到達目標】 ピアノ曲の習得、季節の歌(秋)の練習をする。 【授業内容】 今練習しているピアノ曲を仕上げる。秋の歌の練習をする。「森のくません」、「ゆき」。	15	【到達目標】 定期試験により1年間の到達状況を理解する。				
8	【到達目標】 中間試験を行い、前期前半の到達度を理解する。 【授業内容】 「季節のうた」を1曲仕上げいつでも弾き歌いができるようになる～秋の歌～。「たきび」。						

科目名 (英)	保育内容の理解と方法 Understanding and method for Childcare contents	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	浅子 元
		授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 火曜 2限
学科・コース	保育士科						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
保育者養成校にて20年のピアノ・音楽指導を行う。また保育園にてリトミック指導を12年行う。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
長年の音楽(ピアノ)教育の経験から、ピアノ・歌唱のほか、リトミック、打楽器演奏、オペレッタを2002年から専門学校にて指導している。本科目は、1年次に習得した基礎的なピアノの実力を基に、実習で使用する「季節の歌」の習得、リズム遊び・リトミックの初步の段階の指導ができるように学ぶ。また、オペレッタの製作と発表までの取り組みを通じて、保育内容の充実や保育者の役割についても総合的に学ぶ。							
【到達目標】							
・保育現場の実態を学び、保育の基本や保育者の役割を理解することができる。 ・子どもの発達や保育の環境、内容を理解したうえで、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。 ・保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的な展開のための技術を実践的に習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
・「こどものうた200」チャイルド社 ・「標準バイエルピアノ教則本」全音楽譜出版社							
回	授業概要	回	授業概要	回	授業概要	回	授業概要
1	【到達目標】 オリエンテーションを行い、前期で学習する内容と、年間到達目標を理解する。 【授業内容】 リトミック…(リズム)基礎リズム1~4、2拍の拍子感。	9	【到達目標】 リトミック…(ティーチング)0歳児、1歳児のリトミックの活動を実演し習得する。季節の歌「夏」「秋」の習得。ピアノの伴奏と歌唱をする。 【授業内容】 ピアノの復習とコード・ネームの基礎の復習、夏、秋の歌の練習(ピアノ、うた)。弾きうたい。	11	【到達目標】 リトミック…(ティーチング)1歳児、2歳児のリトミックの活動を実演し習得する。 【授業内容】 親子リトミック(0歳児、1歳児)で出来ること、出来ないことの理解をする。	13	【到達目標】 リトミック…(ティーチング)1歳児、2歳児のリトミックの活動を実演し習得する。 【授業内容】 親子リトミック(0歳児、1歳児)で出来ること、出来ないことの理解をする。
2	【到達目標】 リトミック…(リズム)基礎リズム1~4、2拍、3拍の拍子感の習得を図る。 【授業内容】 ピアノの復習…生活の歌6曲。歌唱…季節の歌「春」。	10	【到達目標】 リトミック…(ティーチング)0歳児、1歳児のリトミックの活動を実演し習得する。 【授業内容】 親子リトミック(0歳児、1歳児)で出来ること、出来ないことの理解をする。	12	【到達目標】 リトミック…(ティーチング)1歳児、2歳児のリトミックの活動を実演し習得する。 【授業内容】 親子リトミック(0歳児、1歳児)で出来ること、出来ないことの理解をする。	14	【到達目標】 リトミック…(リズム)基礎リズム5~8、2拍、3拍、4拍の拍子感の習得を図る。季節の歌「春」の習得。ピアノの伴奏と歌唱をする。 【授業内容】 ピアノの復習とコード・ネームの基礎の復習、春の歌の練習(ピアノ、うた)。
3	【到達目標】 リトミック…(リズム)基礎リズム1~4、2拍、3拍の拍子感の習得を図る。 【授業内容】 ダルクローズの基礎リズムの習得。2拍内で八分音符の音価でのリズムを習得する。	11	【到達目標】 リトミック…(ティーチング)1歳児、2歳児のリトミックの活動を実演し習得する。季節の歌「夏」「秋」の習得。ピアノの伴奏と歌唱をする。 【授業内容】 ピアノの復習とコード・ネームの基礎の復習、夏、秋の歌の練習(ピアノ、うた)。弾きうたい、うただけ、伴奏だけ。	13	【到達目標】 リトミック…(キーボード)即興演奏を経験する。 【授業内容】 キーボードを使用した自由な即興演奏を楽しむ。条件のある即興演奏(ハ長調、4分の4、8小節、両手)を一人ずつ行う。	15	【到達目標】 リトミック…(リズム)基礎リズム1~8のリズムステップ。季節の歌「夏」と「秋」から一曲ずつ弾き歌いが出来るようになる。 【授業内容】 季節の歌「夏」「秋」の習得。弾き歌いで演奏する。
4	【到達目標】 リトミック…(リズム)基礎リズム5~8、2拍、3拍、4拍の拍子感の習得を図る。季節の歌「春」の習得。ピアノの伴奏と歌唱をする。 【授業内容】 ピアノの復習とコード・ネームの基礎の復習、春の歌の練習(ピアノ、うた)。	12	【到達目標】 リトミック…(キーボード)即興演奏を経験する。 【授業内容】 キーボードを使用した自由な即興演奏を楽しむ。条件のある即興演奏(ハ長調、4分の4、8小節、両手)を一人ずつ行う。	14	【到達目標】 リトミック…(リズム)基礎リズム1~8のリズムステップ。(ソルフェージュ)リズム聴取。 【授業内容】 基礎リズムのリズム唱、クラップ、ステップの実演。基礎リズムのリズム聴取(紙面への書き取り)を行う。	15	【到達目標】 リトミック…(リズム)基礎リズム1~8のリズムステップ、(ソルフェージュ)リズム聴取。 【授業内容】 基礎リズムのリズム唱、クラップ、ステップの実演。基礎リズムのリズム聴取(紙面への書き取り)を行う。
5	【到達目標】 リトミック…(リズム)基礎リズム5~8、2拍、3拍、4拍の拍子感の習得を図る。(ソルフェージュ)リズム聴取。 【授業内容】 ダルクローズの基礎リズムの習得。2拍内で八分音符の音価でのリズムを習得する。リズムの聞き取りと記譜を学ぶ。	13	【到達目標】 リトミック…(キーボード)即興演奏を経験する。 【授業内容】 キーボードを使用した自由な即興演奏を楽しむ。条件のある即興演奏(ハ長調、4分の4、8小節、両手)を一人ずつ行う。	14	【到達目標】 リトミック…(リズム)基礎リズム1~8のリズムステップ。季節の歌「夏」と「秋」から一曲ずつ弾き歌いが出来るようになる。 【授業内容】 季節の歌「夏」「秋」の習得。弾き歌いで演奏する。	15	【到達目標】 リトミック…(リズム)基礎リズム1~8のリズムステップ、(ソルフェージュ)リズム聴取。 【授業内容】 基礎リズムのリズム唱、クラップ、ステップの実演。基礎リズムのリズム聴取(紙面への書き取り)を行う。
6	【到達目標】 リトミック…基礎リズムを発展させたリズム感の習得。季節の歌「春」「夏」の習得。ピアノの伴奏と歌唱をする。 【授業内容】 コードネームを活かした伴奏が出来るようになる。	14	【評価について】	15	【到達目標】 リトミック…(リズム)基礎リズム1~8のリズムステップ、(ソルフェージュ)リズム聴取。 【授業内容】 基礎リズムのリズム唱、クラップ、ステップの実演。基礎リズムのリズム聴取(紙面への書き取り)を行う。	15	実技試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)
7	【到達目標】 リトミック…基礎リズムを発展させたリズム感の習得。 【授業内容】 口、手、足によるリズム表現を行う。リズム唱(口)、ビート(手)、基礎リズム(ステップ)。中間試験の準備。	15	【評価について】	15	【到達目標】 リトミック…基礎リズムを発展させたリズム感の習得。	15	実技試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)
8	【到達目標】 リトミック…基礎リズム1~8のリズムステップが出来る。 【授業内容】 リズム唱(口)、ビート(手)、基礎リズム(ステップ)で1~8までを実演する。	15	【評価について】	15	【到達目標】 リトミック…基礎リズムを発展させたリズム感の習得。	15	実技試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)
【特記事項】							